

令和6年度第1回愛媛県認知症施策推進会議

議題1

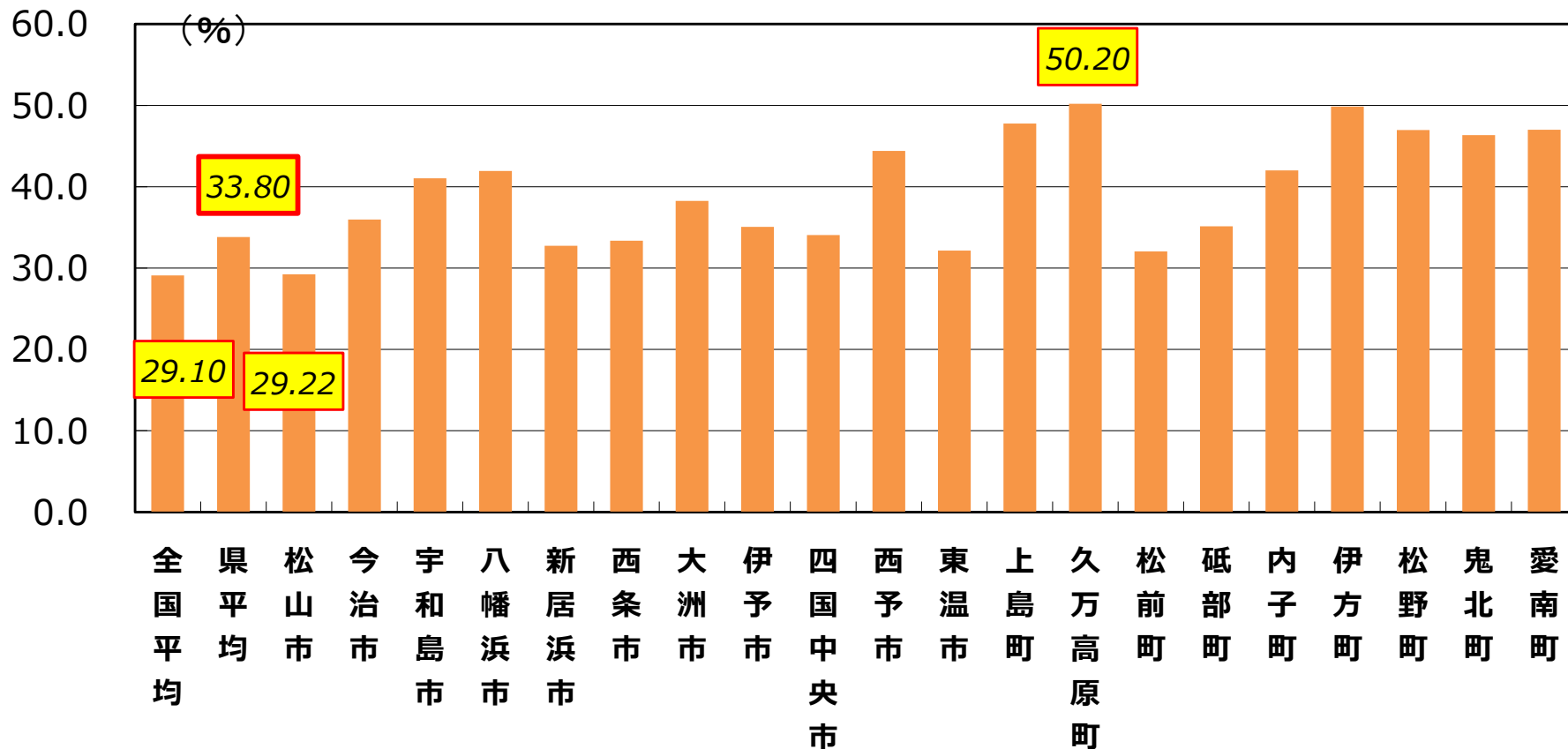
愛媛県の認知症施策について



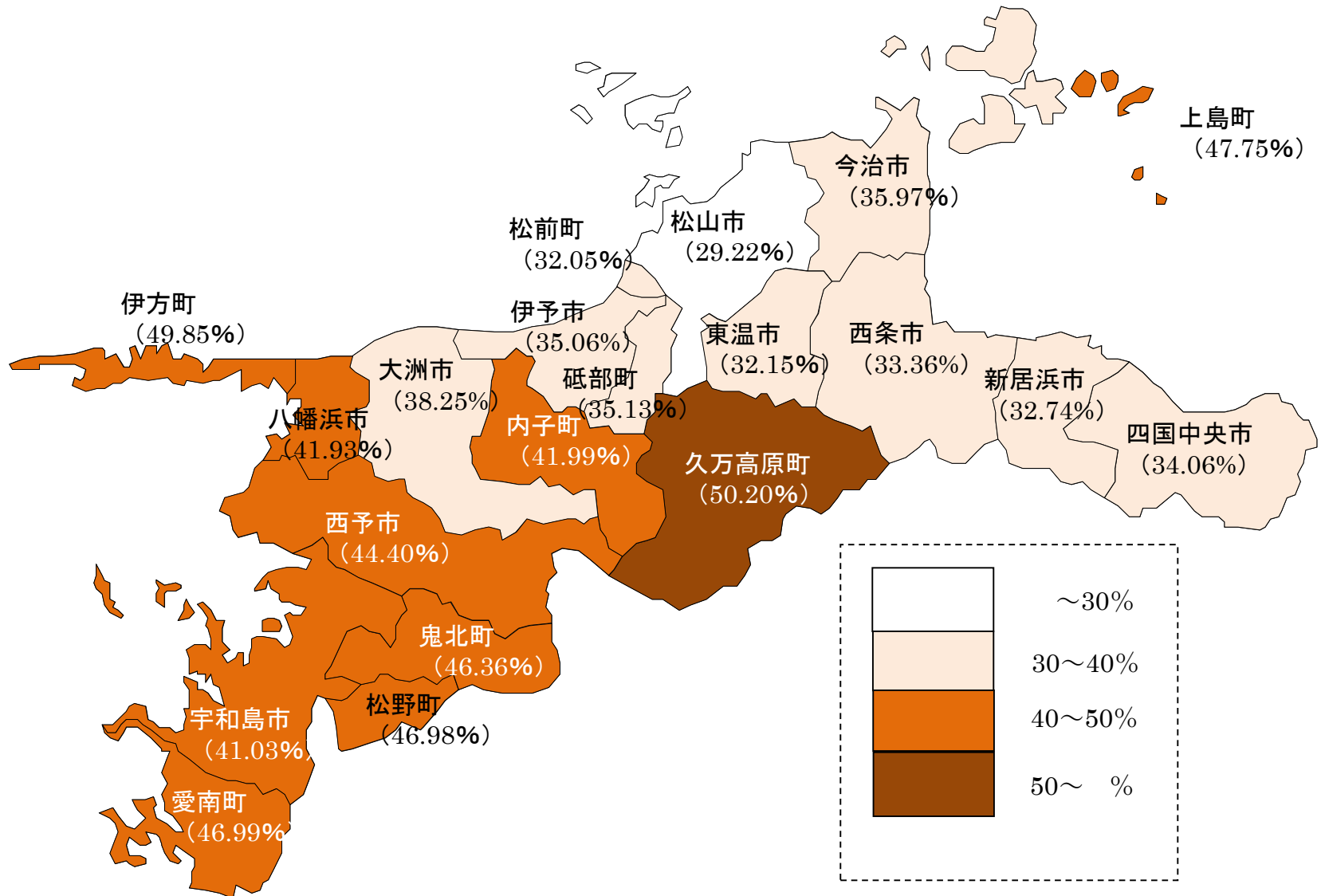
令和6年9月3日

市町別の高齢化率(令和6年4月)

- 愛媛県の総人口は、1,304,440人 うち、高齢者数は440,898人
- 愛媛県の高齢化率は、33.80% 全国は29.1%(令和5年10月1日時点の人口推計)
- うち最も高いのは久万高原町50.20% 最も低いのは松山市29.22%



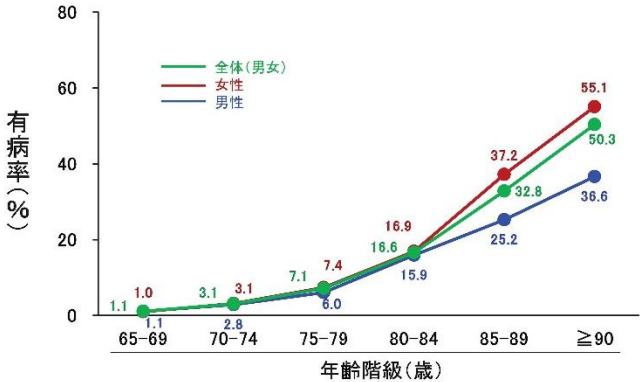
市町別高齢化率分布図(令和6年4月)



◆令和6年4月1日現在愛媛県長寿介護課調査
(人口は、住民基本台帳に基づく数値)

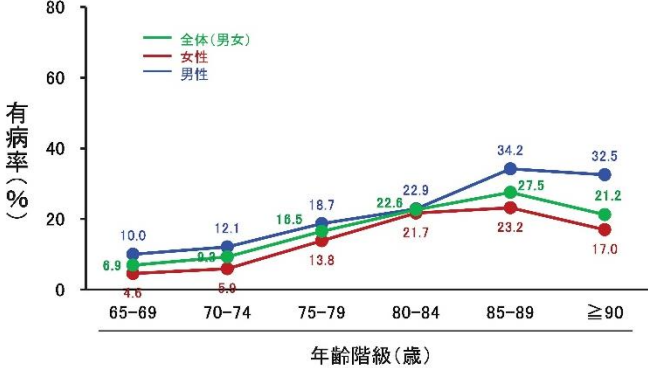
認知症高齢者の将来推計(全国)

2022-2023年調査における認知症の年齢階級別有病率
(調査地域:久山町、中島町、中山町、海士町)



4地域全体の年齢階級毎の有病率の算出には変量効果モデルを用いた。

2022-2023年調査におけるMCIの年齢階級別有病率
(調査地域:久山町、中島町、中山町、海士町)



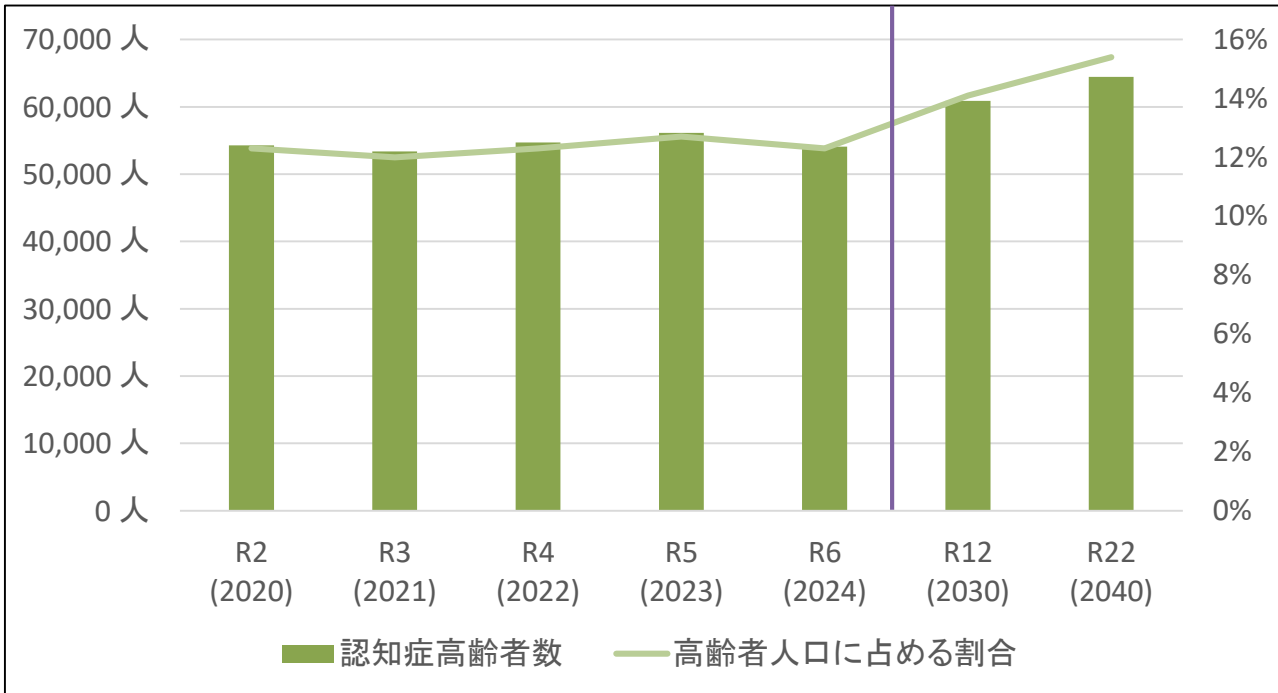
4地域全体の年齢階級毎の有病率の算出には変量効果モデルを用いた。

資料:R6.5.8 認知症施策推進関係者会議 資料9(内閣官房)
「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」(令和5年度老人保健事業推進費等補助金 九州大学 二宮教授)

年	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和22年 (2040年)	令和32年 (2050年)	令和42年 (2060年)
認知症患者数の推計値 有病率	443万人 12.3%	472万人 12.9%	523万人 14.2%	584万人 14.9%	587万人 15.1%	645万人 17.7%
MCI 患者数の推計値 有病率	559万人 15.5%	564万人 15.4%	593万人 16.0%	613万人 15.6%	631万人 16.2%	632万人 17.4%

資料:R6.5.8 認知症施策推進関係者会議 資料9(内閣官房)
「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」(令和5年度老人保健事業推進費等補助金 九州大学 二宮教授)を元に
長寿介護課で作成

認知症高齢者数と将来推計(愛媛県)



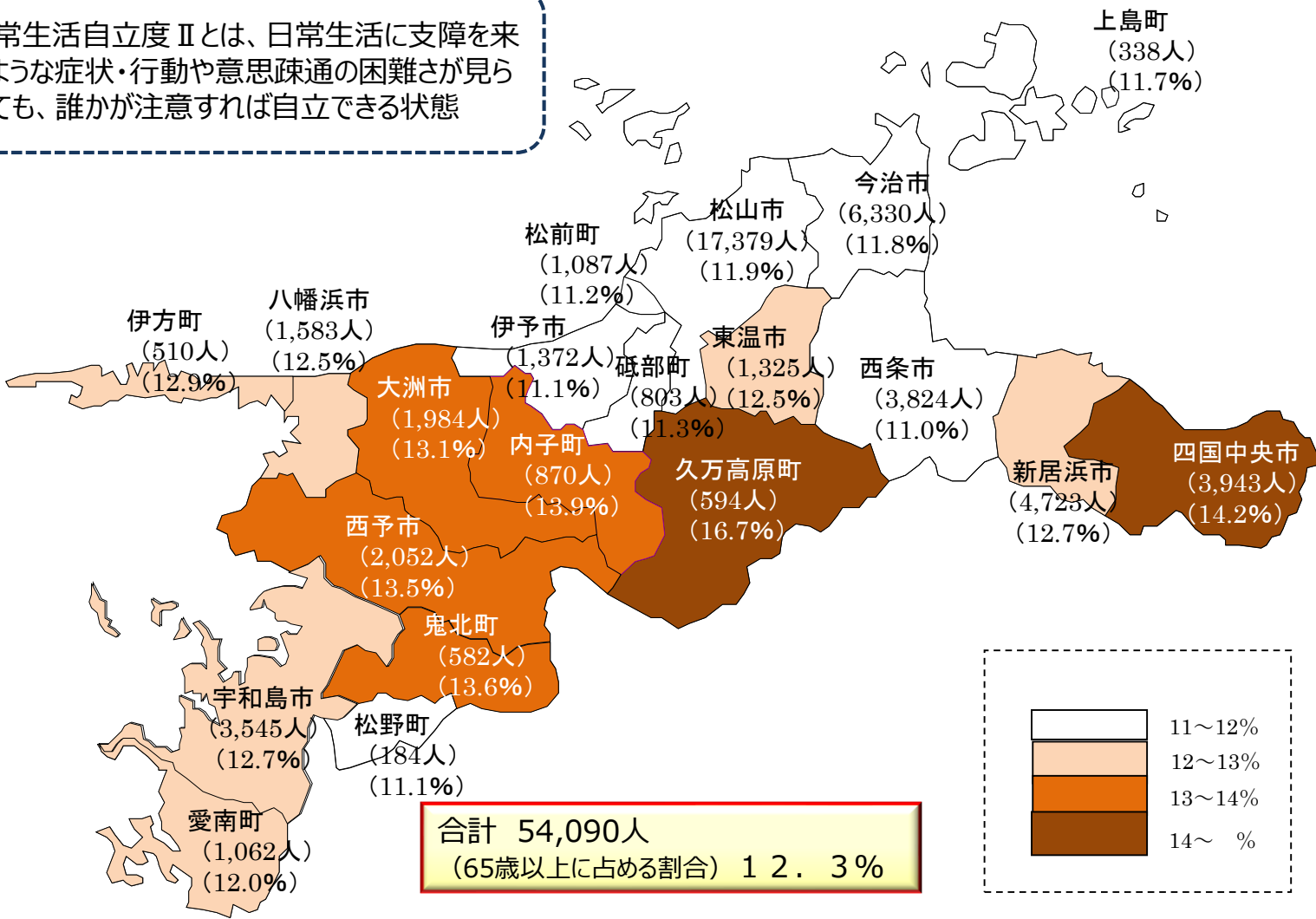
	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R12 (2030)	R22 (2040)
高齢者人口	442,170	443,576	443,774	441,606	440,898	431,051	418,323
認知症高齢者数	54,284	53,389	54,716	56,122	54,090	60,882	64,400
高齢者人口に占める割合	12.3%	12.0%	12.3%	12.7%	12.3%	14.1%	15.4%

※1 R2～R6は、各市町の介護保険認定データをもとに集計

※2 R12、22のデータは、R5年の要介護認定データに基づき、要介護認定者に占める「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ」以上の割合(認知症患者率)を算出し、市町の要介護認定者数の将来推計に認知症患者率を乗じて推計

市町別 高齢者人口に占める認知症高齢者数

日常生活自立度Ⅱとは、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られても、誰かが注意すれば自立できる状態



◆令和6年4月1日現在 県長寿介護課調査
(介護保険認定データをもとに各市町にて算出)

これまでの認知症施策のあゆみと県の取組

時 期	内 容	
	国	県
H23年度		<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県認知症施策推進会議設置(以降、毎年開催) ・認知症施策市町連携会議開催(以降、毎年開催)
H24年度	「認知症施策推進5か年計画」(オレンジプラン)策定	
H25年度		認知症疾患医療センター業務開始(県下7ヵ所)
H26年度	「認知症施策推進総合戦略」(新オレンジプラン)策定	「認知症地域連携パス」検討・作成委員会等の設置、検討
H27年度		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症コールセンター設置、認知症理解促進、交流会等の実施(家族の会へ委託) ・オレンジネットワークガイドラインの策定 ・認知症地域連携パス「えがおの安心手帳」運用開始 ・認知症フォーラム開催(若年性認知症) ・「キャンパスで認知症を学ぼう」(認知症サポーター養成講座)の開催(県下5箇所) ・認知症講演会(認知症疾患医療センターの活動について)
H28年度		・若年性認知症自立支援ネットワーク会議(愛媛県認知症施策推進会議ワーキンググループ)設置(以降、毎年開催)
H29年度	「認知症施策推進総合戦略」(新オレンジプラン)改訂	・若年性認知症支援コーディネーター設置(慈光会に委託)
R元年度	「認知症施策推進大綱」策定	・認知症フォーラム開催(四国厚生支局との共催)
R3年度		・チームオレンジコーディネーター研修実施
R4年度		・認知症本人大使「えひめ認知症希望大使」委嘱
R5年度	「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」施行	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ研修会実施 ・ピアサポート活動支援事業(慈光会に委託)

愛媛県における認知症施策について

1 普及啓発・本人発信支援

- ①認知症サポーター、キャラバンメイトの養成
- ②愛媛県認知症普及啓発フォーラムの開催(認知症月間関連イベントの実施)
- ③えひめ認知症希望大使の委嘱
- ④ピアサポート活動の実施

2 予防

- ①認知症に関する知識や理解の普及、予防及び早期発見の市町等の取組を支援

3 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

- ①認知症疾患医療センターの体制整備
- ②認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員研修支援
- ③認知症サポート医養成研修、フォローアップ研修の実施
- ④かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施
- ⑤歯科医師・薬剤師・看護職員・病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修の実施
- ⑥認知症介護基礎研修の実施
- ⑦認知症実践者研修等の実施
- ⑧認知症指導者養成研修、フォローアップ研修の実施
- ⑨認知症コールセンターの設置
- ⑩認知症カフェ研修会の実施

4 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

- ①認知症高齢者等見守体制推進事業の実施
- ②チームオレンジコーディネーター研修会の実施
- ③若年性認知症自立支援ネットワーク会議の開催
- ④若年性認知症支援コーディネーターの設置
- ⑤若年性認知症交流会の開催

愛媛県認知症施策推進会議の開催状況

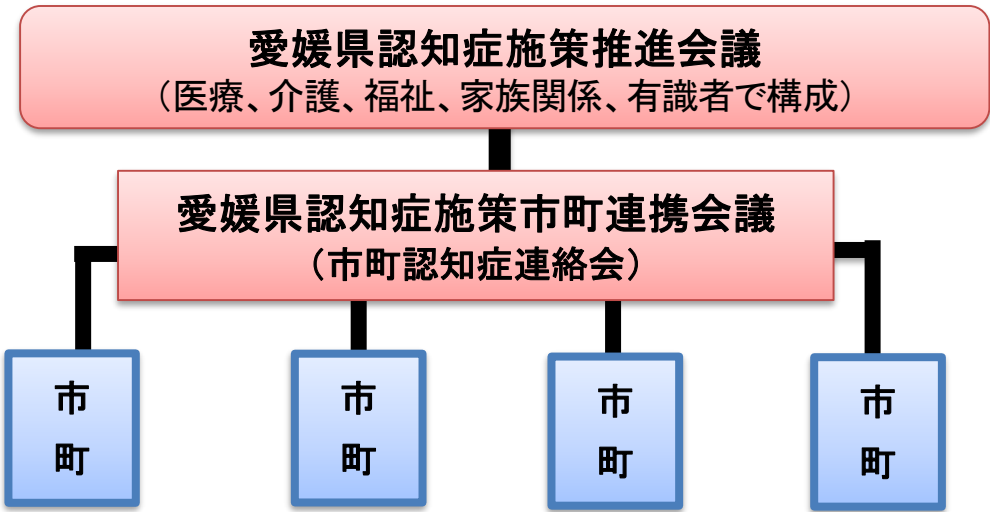
① 愛媛県認知症施策推進会議

<令和6年度(予定)>
開催日(第1回)R6.9.3、(第2回)R7.2月頃
内 容:愛媛県の認知症施策等について
市町の認知症施策の支援について 等

② 愛媛県認知症施策市町連携会議

<令和6年度>
開催日:R6.12月頃
内 容:未定

<認知症総合戦略推進事業(国補助)>



情報収集、フィードバック



先進事例を他の市町へ情報提供、
取組が進むよう支援



県内認知症施策全体の向上

1 普及啓発・本人発信支援

①認知症サポーター、キャラバンメイトの養成状況

認知症サポーターとは

- 認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人や家族に対して**できる範囲での手助けをする人**



キャラバンメイト養成研修

- 実施主体：都道府県、市町村、全国的な職域団体等
- 目的：地域、職域における**「認知症サポーター養成講座」の講師役である「キャラバンメイト」**を養成
- 内容：認知症の基礎知識等のほか、サポーター養成講座の展開方法、対象別の企画手法、カリキュラム等をグループワークで学ぶ。
- メイト数：全国181,754人 愛媛県2,155人（令和6年3月31日現在）

認知症サポーター養成講座

- 実施主体：都道府県、市町村、職域団体等
- 対象者：
〈住民〉自治会、老人クラブ、民生委員、家族会、防災・防犯組織等
〈職域〉企業、銀行等金融機関、消防、警察、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、宅配業、公共交通機関等
〈学校〉小中高等学校、教職員、PTA等
- サポーター数：全国15,166,742人 愛媛県189,775人（令和6年3月31日現在）



メイト・サポーター合計（令和6年3月31日現在）

全国15,348,496人 愛媛県191,930人（*県は自治体実施分の数）

1 普及啓発・本人発信支援

②愛媛県認知症普及啓発フォーラムの開催(認知症月間関連イベントの実施)

<令和6年度の取り組み予定>

- 県庁ロビー展の開催(9月17日(火)～9月27日(金))
- 県庁本館ドームのライトアップの開催(9月13日(金)～9月22日(日))

○街頭活動の実施

日時:9月21日(土) 11時～12時

場所:いよてつ高島屋前

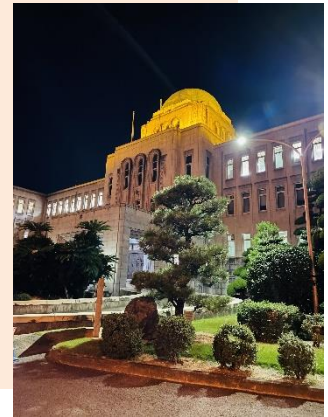
○愛媛県認知症普及啓発フォーラムの開催

日時:10月12日(土)

場所:IYO夢みらい館(伊予市米湊768-2)

内容:・えひめ認知症希望大使委嘱状伝達式

- ・一般社団法人セカンド・ストーリー代表 山中 しのぶ 氏
副理事 山中 蓮 氏 による講演
- ・愛媛大学大学院医学系研究科 谷向 知 教授による講演
- ・シンポジウム



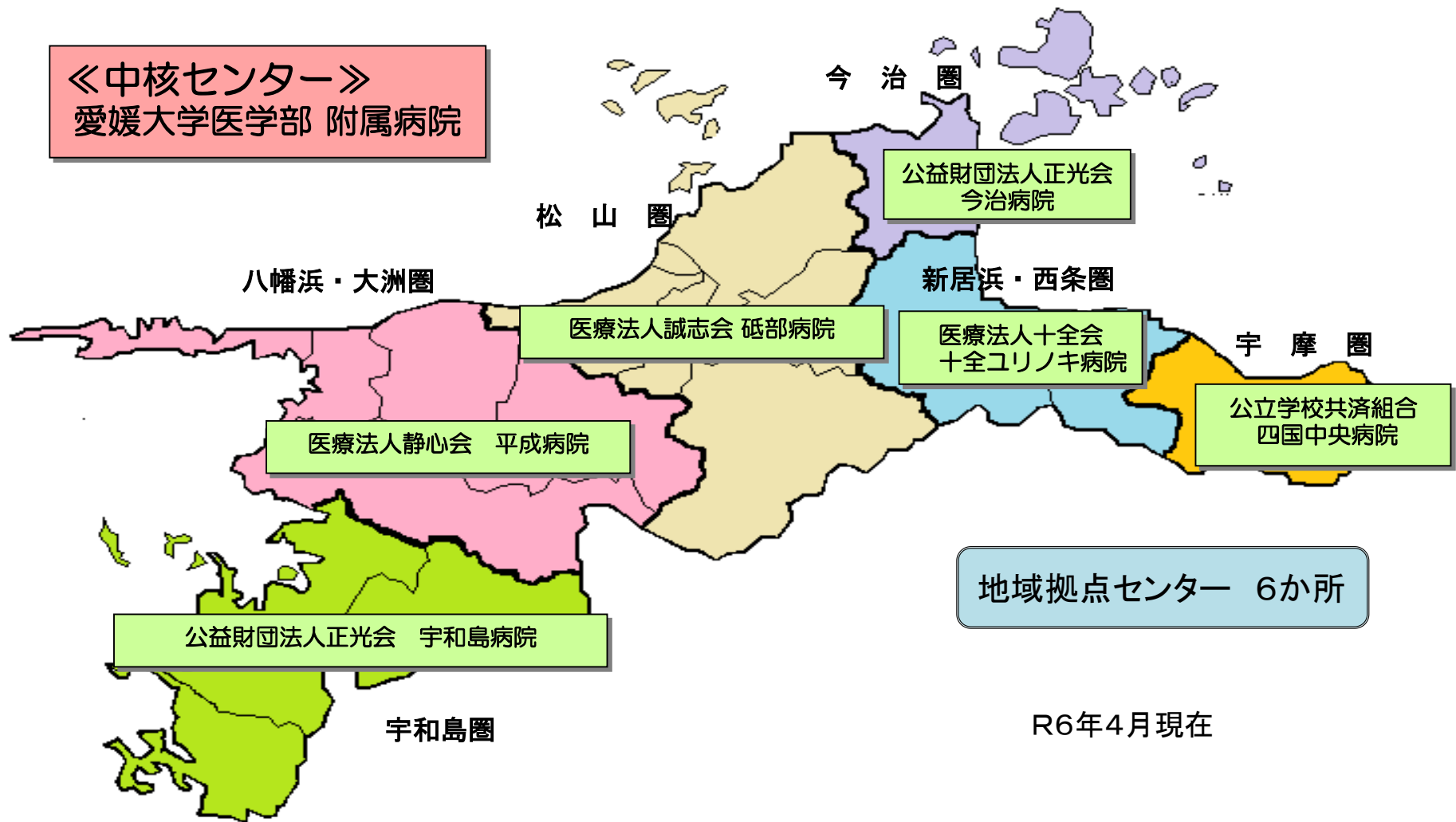
④ピアサポート活動の実施

<令和6年度の取り組み予定>

- 実施予定(詳細未定)

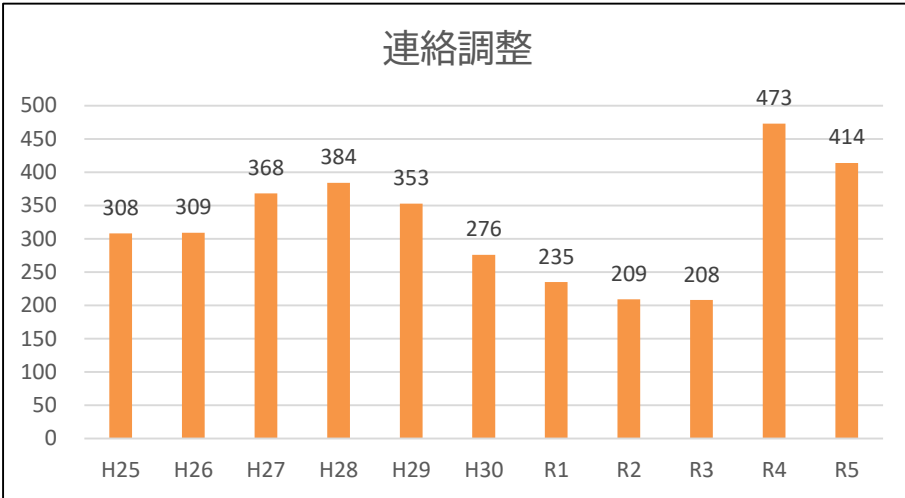
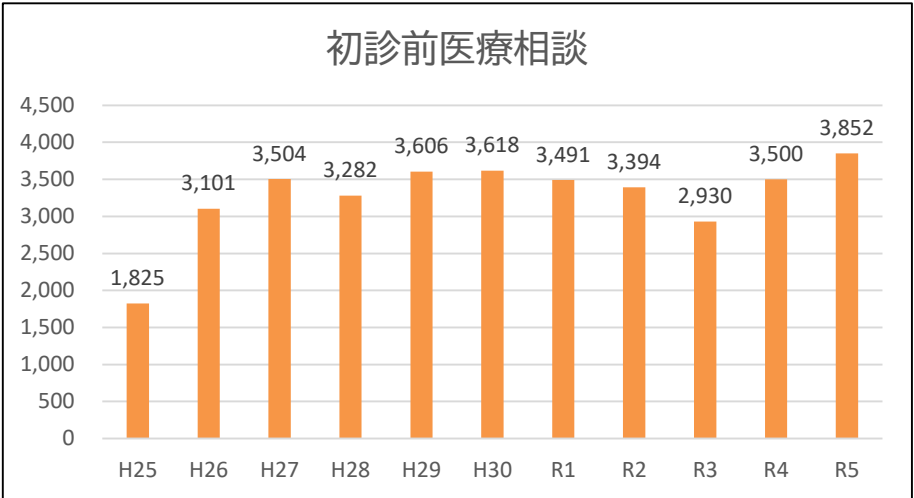
3 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

① 認知症疾患医療センターの体制整備



3 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

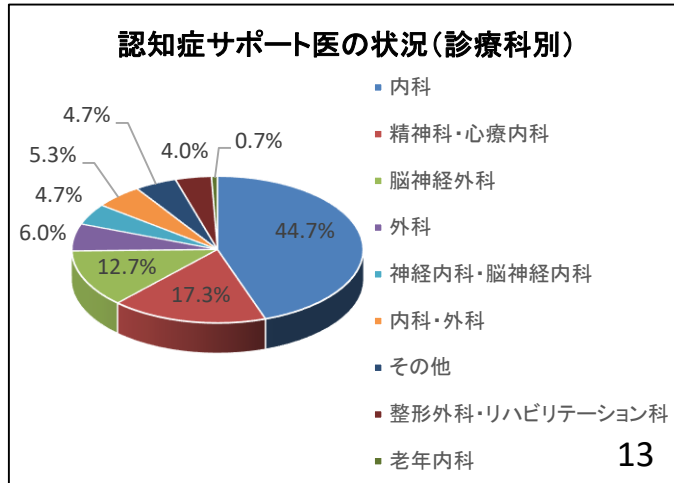
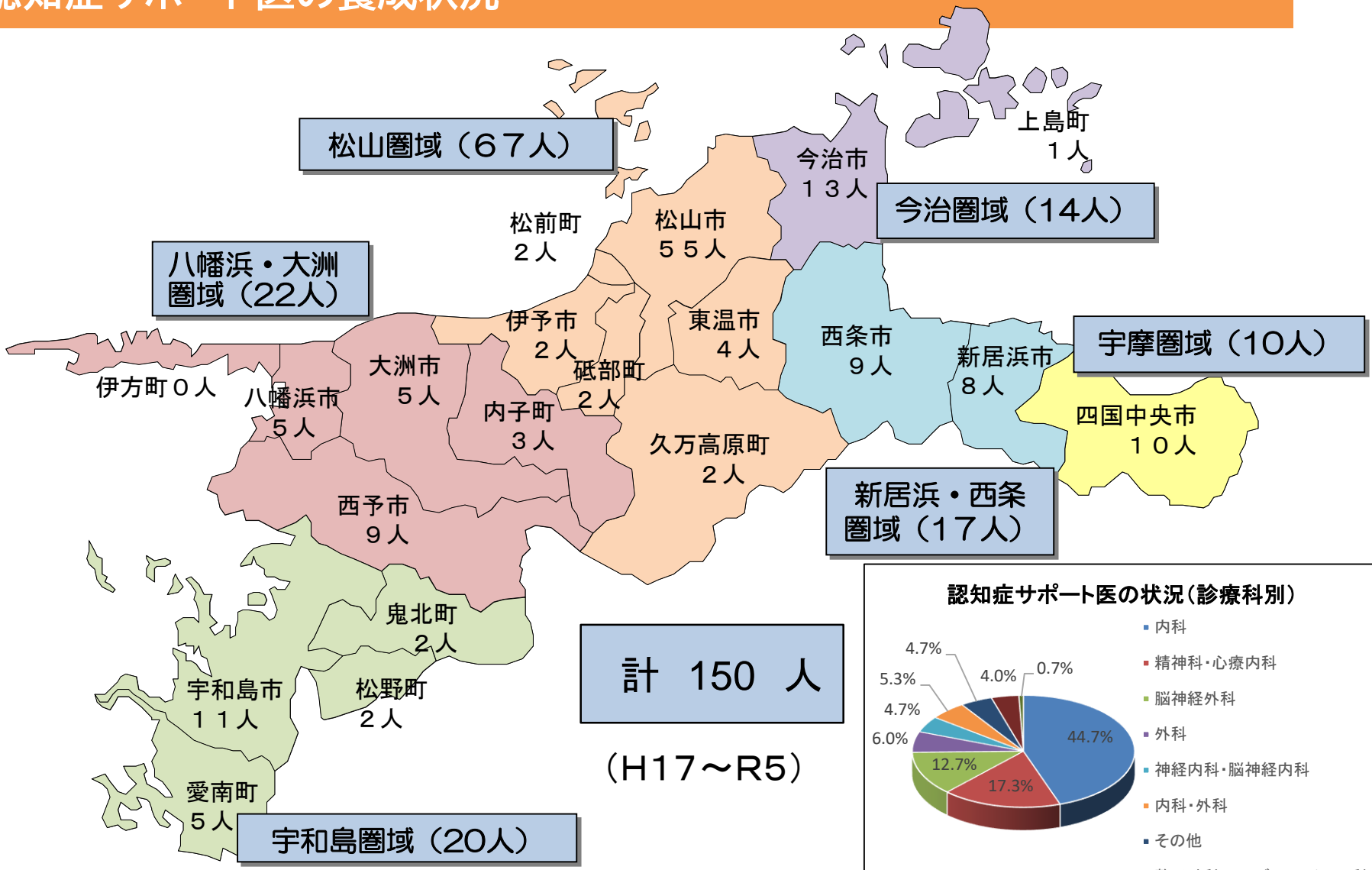
①認知症疾患医療センターの体制整備



区分	鑑別診断・初期対応				身体合併症・ 周辺症状への急性期対応	かかりつけ 医等への研 修会	認知症疾患 医療連携協 議会
	初期 診断	鑑別 診断	治療方針選 定	入院先 紹介			
R5 3月末(件)	1,097	1,042	1,092	361	449	28	14
R6 3月末(件)	1,073	1,293	1,103	357	523	25	14
増減	-24	251	11	-4	74	-3	0

3 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

③認知症サポート医の養成状況



3 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

③認知症サポート医フォローアップ研修の実施

<令和5年度実績>

- ・日時:令和6年3月17日(日)10時~12時
- ・内容:「精神科病院でのBPSD対応について」
講師 医療法人鶯友会 牧病院 牧 徳彦 先生
- ・受講者数:56名

<令和6年度の予定>

- ・実施予定(時期未定)



④かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施

<令和5年度実績>

- ・日時:令和6年3月17日(日)13時~16時30分
- ・内容:「かかりつけ医の役割について」
講師 医療法人滴水会 吉野病院 仁志川 高雄 先生
- 「診療における実践について」
講師 愛媛大学大学院医学系研究科 老年精神地域包括ケア学 谷向 知 先生
- 「地域・生活における実践について」
講師 医療法人鶯友会 牧病院 牧 徳彦 先生
- ・受講者数:178名

<令和6年度の予定>

- ・実施予定(時期未定)

3 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

⑤ 歯科医師・薬剤師・看護職員・病院勤務以外の看護師等に係る研修の実施状況

<令和5年度実績>

- ・歯科医師の認知症対応力向上研修 日時:令和6年2月18日(日)開催 受講者数:98名
- ・薬剤師の認知症対応力向上研修 日時:令和5年8月27日(日)開催 受講者数:74名
- ・看護職員の認知症対応力向上研修 日時:令和5年8月22日(火)～24日(木)開催 受講者数:38名
- ・病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修 日時:令和5年5月20日(土)、9月23日(土)開催 受講者数:97名

<令和6年度の予定>

歯科医師

- ・日時:令和7年1月26日(日)9:30～15:00
- ・内容:未定



看護職員

- ・日時:令和6年9月18日(水)～20日(金)
- ・内容:「認知症に関する知識」
「認知症看護の実践対応力」
「体制構築・人材育成」
- ・講師:県内の認知症認定看護師



薬剤師

- ・日時:令和6年8月25日(日)13:00～16:35
- ・内容:「認知症に関する基本知識-レカネマブで変わった診療-」
講師 医療法人和昌会 貞本病院 先制医療研究センター
センター長 久門 良明 先生
「認知症の人や家族を支えるかかりつけ薬剤師の役割」
「認知症の気づきと対応 薬局業務や多職種連携における実践」
「地域・生活における医療・介護・地域連携の実践」
講師 愛媛県薬剤師会、愛媛県長寿介護課職員

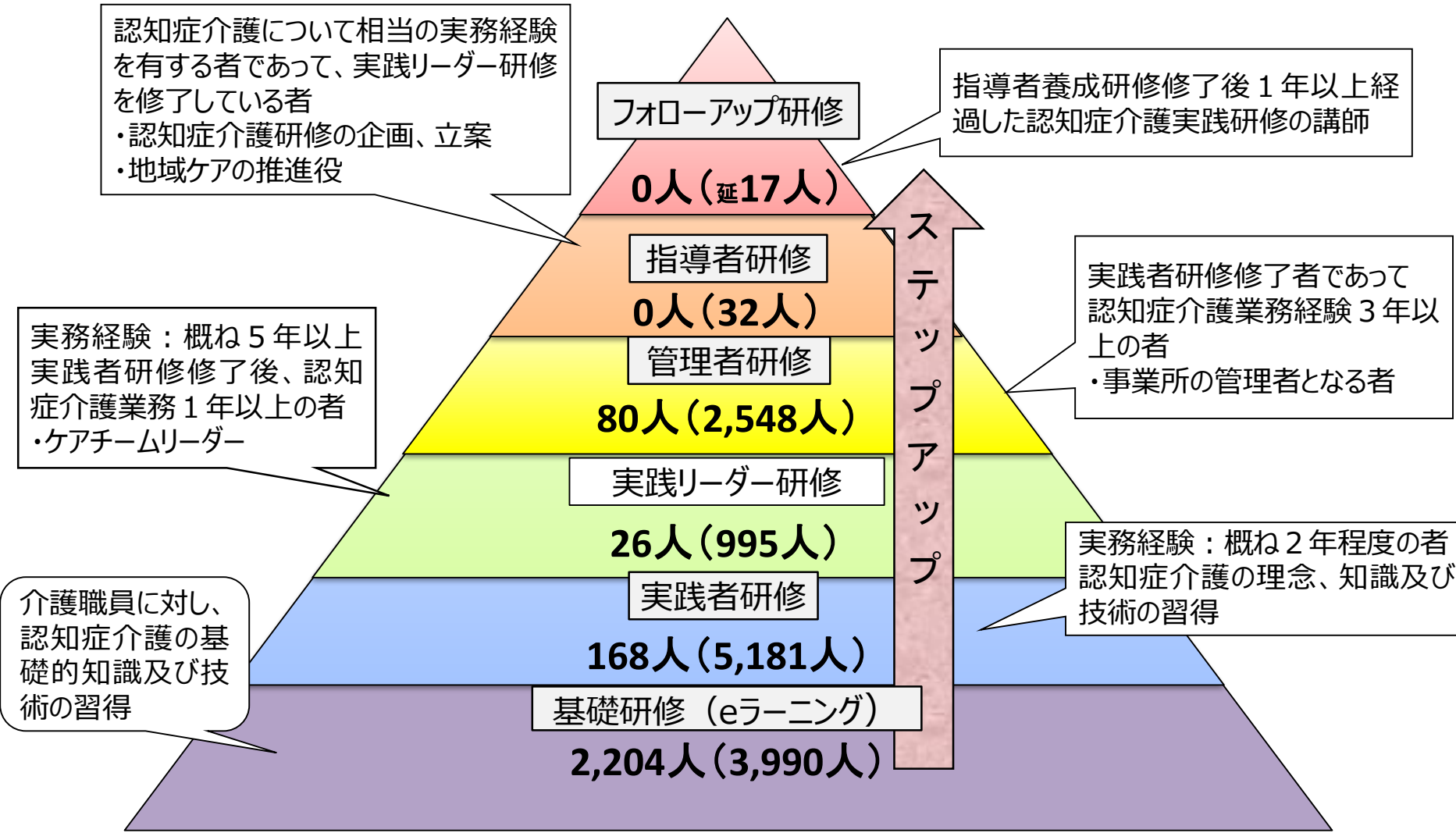


病院勤務以外の看護師等

- ・日時: 令和6年5月18日(土)9:20～12:00
令和6年8月31日(土)9:20～12:00
- ・内容:「基本的知識」
「地域における実践」
「社会資源等」
「演習・まとめ」
- ・講師:県内の認知症看護認定看護師

3 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

⑥～⑧認知症介護に係る研修の実施状況



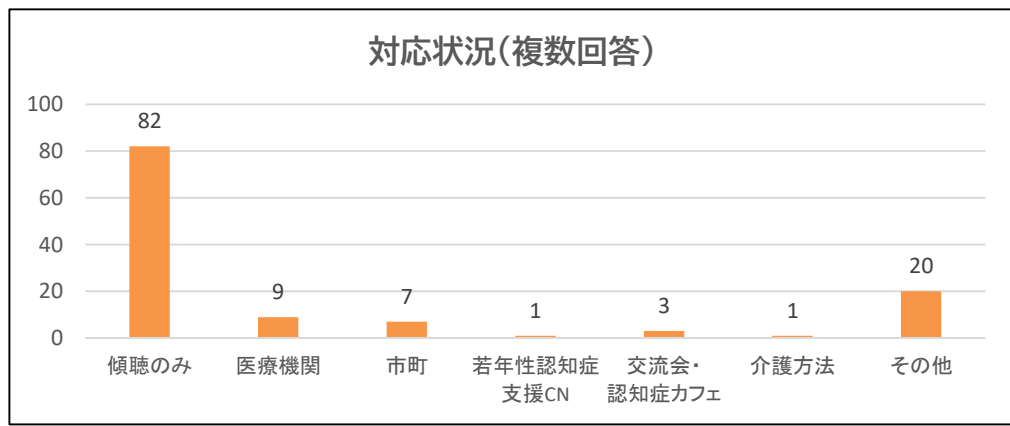
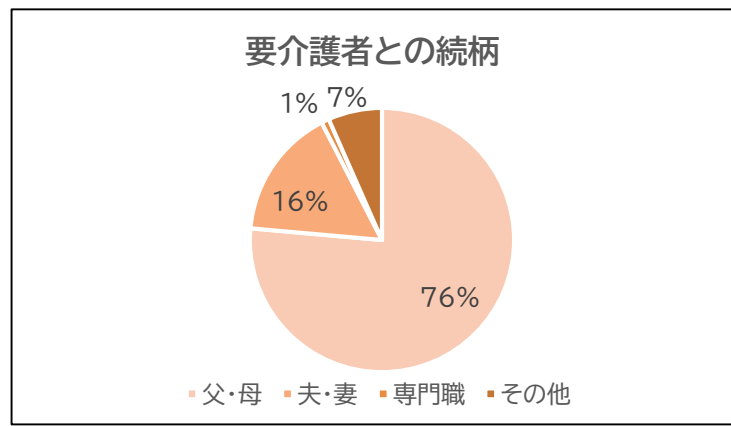
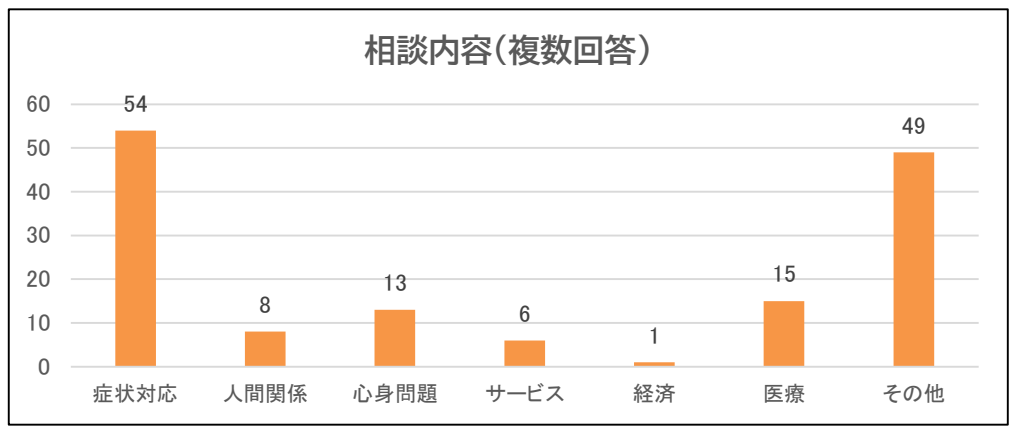
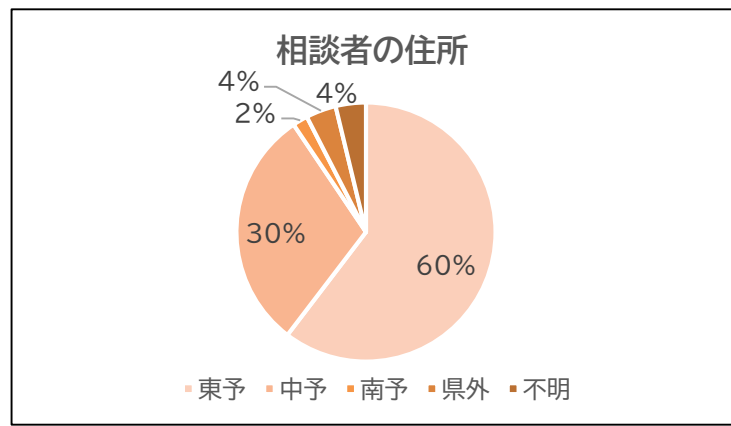
令和5年度の修了者数：()は累計修了者数

3 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

⑨認知症コールセンターの設置

認知症介護の専門家や介護経験者等が対応するコールセンターを設置し、認知症の人やその家族が気軽に相談できる体制を構築するほか、認知症介護に迫られる家族等の相談を受けることにより、精神面も含めた支援を行う
 ・開設日:週4日(月・火・木・金 ただし、祝日除く) ・受付時間:10時~16時

<R5年度の相談件数> 106件 <R6年度の予定> 昨年度までと同様、コールセンターを開設中



4 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

④若年性認知症支援コーディネーターの設置

目的:65歳未満の現役世代に発症する若年性認知症の方に対し、連携を通じた総合的な支援の推進を図る。

設置日:平成29年12月1日

委託先:社会福祉法人 慈光会 理事長 木戸 百世子

若年性認知症支援コーディネーター

- ・横田 麻弥(主任介護支援専門員／ていれぎ荘)
- ・谷向 知(医師／愛媛大学大学院医学系研究科)

業務内容

1. 個別相談・支援
2. 関係機関との連携
3. 若年性認知症についての理解促進
4. 人材育成



相談受付

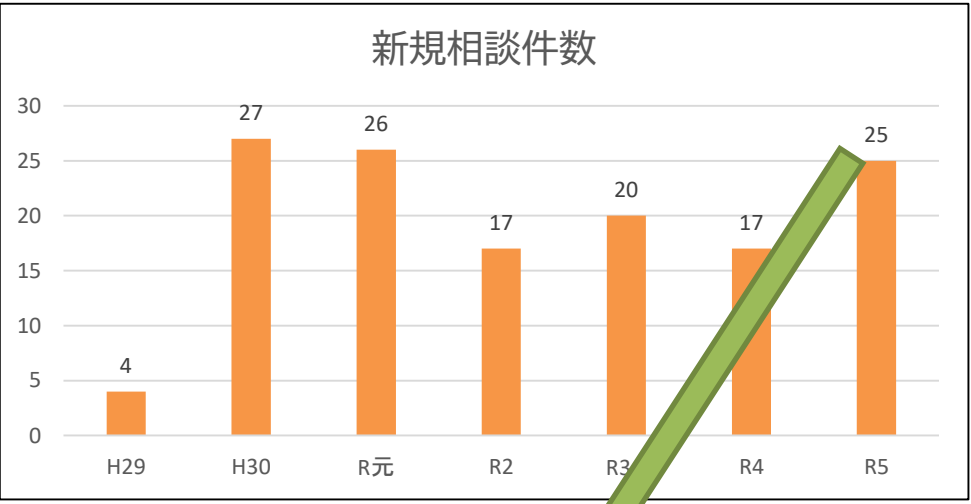
受付時間:月曜日～金曜日 9時～17時
電話番号:070-3791-0342
受付場所:高齢者総合福祉施設 ていれぎ荘
(松山市水泥町405番地1)

【相談対応の流れ】

- ①相談窓口職員(主任介護支援専門員)が相談受付を行う。
- ②相談内容に応じて医師へつなぎ、必要に応じて都合のいい時間に相談対応する。

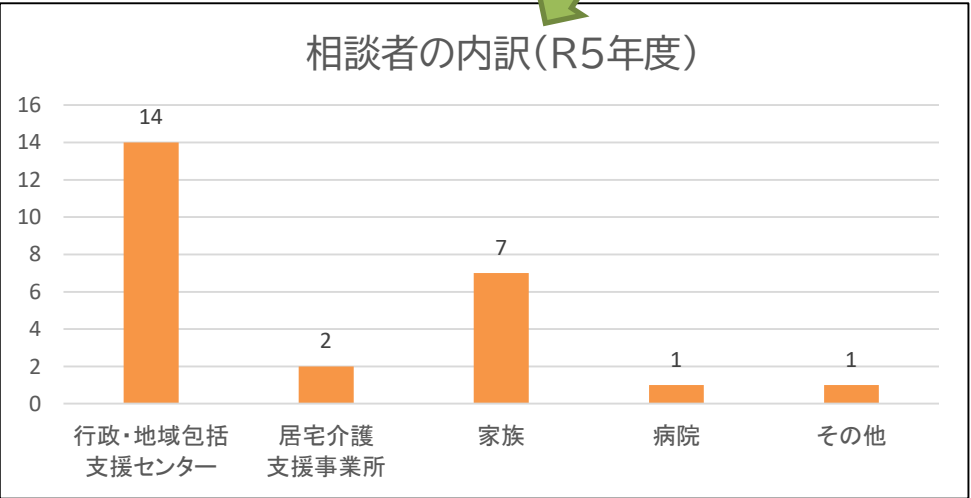
4 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

④若年性認知症支援コーディネーターの設置



○R5年度相談受付件数
電話:601件
来荘:14件
メール:361件
訪問:115件

○相談内容
・若年性認知症の交流会に参加したい
・サービス等の制度面の情報を教えてほしい
・就労について



4 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

④若年性認知症支援コーディネーターの設置

【事例検討会の開催】

Zoomにて毎月開催

<R5年度検討テーマ>

- ・独居のアルツハイマー型認知症の方の今後の暮らしについて
- ・認知症と自動車運転について考える

<R6年度の予定>

- ・昨年度に引き続き月1回開催予定

【セミナーの開催】

<R5年度の実施状況>

①広見体育センターで開催 参加者:116名

テーマ:「みんな仲間! ~豊かな理解と誰もが役割・生きがいを持って暮らせる地域を目指して~」

②松前総合文化センターで開催 参加者:54名

テーマ:「これだけは譲れない~認知症懐事情について考える~」

③愛媛大学南加記念ホールで開催 参加者:90名

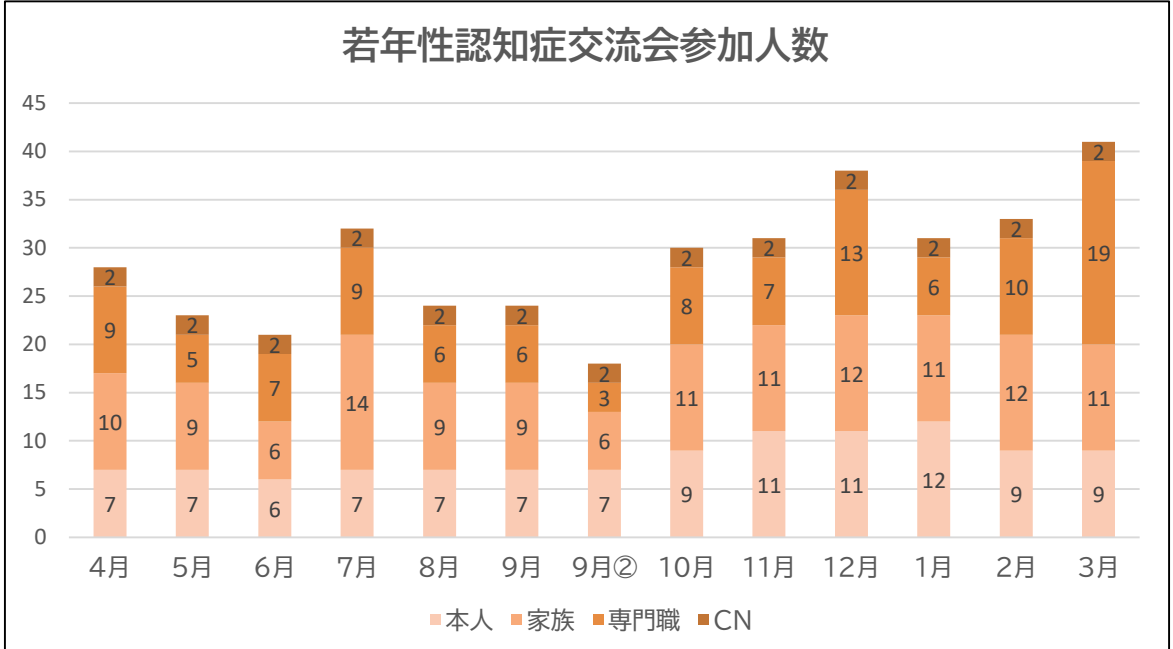
テーマ:「知ろう! 語ろう! 「認知症基本法」」

<R6年度の予定>

- ・開催予定(詳細未定)

4 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援

⑤若年性認知症交流会の開催



<R5実績>

- ・基本的には中予(松山市、東温市)圏域で開催。
- ・6月は鬼北町で開催し、9月②は砥部動物園に行った。
- ・2月、3月はピアサポートと共同開催。2月は京都認知症応援大使の下坂厚氏、3月は高知家希望大使の山中しのぶ氏をお招きし、交流を深めた。

<R6年度の予定>

- ・毎月開催予定

施策の進捗状況について(第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画から)①

指標	目標達成のための取組内容	数値目標			実績			達成状況		
		R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
キャラバンメイト・サポーターの養成(累計)(人)	各市町が実施する認知症サポーター養成講座に対して財政的な支援を行うとともに、県在宅介護研修センターにおいてキャラバン・メイトの養成を行った。	169,940	182,420	194,900	171,422	182,043	191,930	101%	100%	98%
認知症の人が参画する会議やイベントの回数(回)	認知症の本人を「若年性認知症自立支援ネットワーク会議」のメンバーとするほか、認知症本人大使「えひめ認知症希望大使」を委嘱した。	4	4	5	2	6	16	50%	150%	320%
介護予防に資する住民主体の通いの場の参加者実人数(人)	市町と連携して、介護予防の趣旨や必要性の普及啓発を行うとともに、ボランティア活動など地域の介護予防に向けた自発的な取組を促進した。	33,000	34,000	35,000	28,726	28,620	-	87%	84%	-
認知症サポート医養成研修受講者数(累計)(人)	研修を受講するための費用(受講料)を県で一部負担した。	145	155	165	142	151	154	98%	97%	93%
かかりつけ医の認知症対応力向上研修受講者数(累計)(人)	国が定める標準的なカリキュラムに基づき、認知症診療の知識・技術等の修得に資する研修を委託して実施した。	2,860	3,060	3,260	2,830	3,037	3,215	99%	99%	99%
歯科医師の認知症対応力向上研修受講者数(累計)(人)	国が定める標準的なカリキュラムに基づき、認知症の人に係る基礎知識・連携等の修得に資する研修を委託して実施した。	562	672	782	593	717	815	106%	107%	104%
薬剤師の認知症対応力向上研修受講者数(累計)(人)	国が定める標準的なカリキュラムに基づき、認知症の人に係る基礎知識・連携等の修得に資する研修を委託して実施した。	445	535	625	355	447	521	80%	84%	83%

施策の進捗状況について(第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画から)②

指標	目標達成のための取組内容	数値目標			実績			達成状況		
		R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
看護職員の認知症対応力向上研修受講者数(累計)(人)	国が定める標準的なカリキュラムに基づき、認知症の人に係る基礎知識・連携等の習得に資する研修を委託して実施した。	408	488	568	351	374	412	86%	77%	73%
認知症介護基礎研修受講者数(累計)(人)	国が定める標準的なカリキュラムに基づき、eラーニングによる研修を実施した。	617	767	917	696	1,786	3,990	113%	233%	435%
認知症介護実践者研修受講者数(累計)(人)	国が定める標準的なカリキュラムに基づき、年4回の研修を実施した。	4,895	5,135	5,375	4,842	5,013	5,181	99%	98%	96%
認知症介護指導者養成研修受講者数(累計)(人)	認知症介護研究・研修仙台センターが実施する研修について、受講にかかる費用を補助した。	32	35	38	29	32	32	91%	91%	84%
チームオレンジ整備市町数	認知症地域支援推進員等に対し、チームオレンジの立ち上げやネットワークの構築の手法のほか、運営のノウハウなどの研修を実施し、チームオレンジコーディネーターを養成した。	1	2	4	2	5	9	200%	250%	225%

市町の認知症施策について

(令和5年度及び令和6年度当初認知症総合支援事業等実施状況調べから)



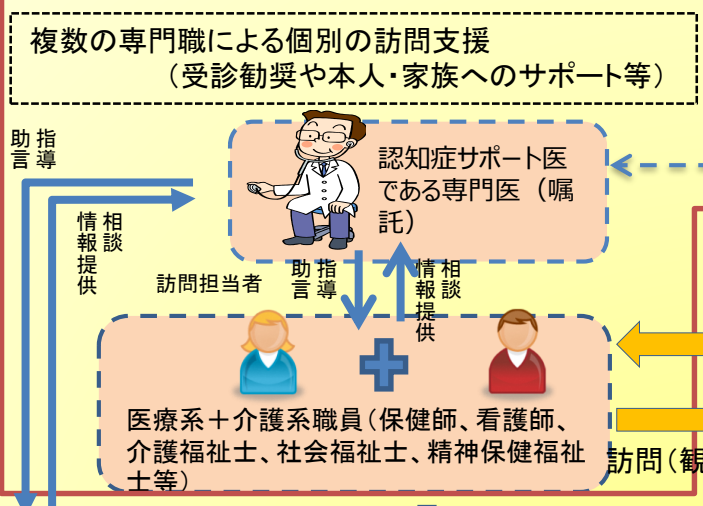
認知症初期集中支援チームと認知症地域支援推進員

- **認知症初期集中支援チーム** – 複数の専門職が認知症が疑われる人、認知症の人とその家族を訪問し、認知症の専門医による鑑別診断等をふまえて、観察・評価を行い、本人や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行う。
- **認知症地域支援推進員** – 認知症の人ができる限り住み慣れた良い環境で暮らし続けることができるよう、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う。

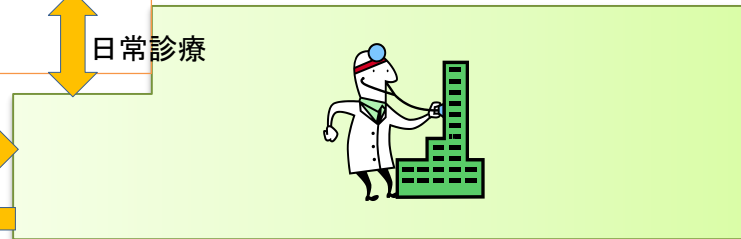
地域包括支援センター・認知症疾患医療センター等に設置

● 専門医療機関(認知症疾患医療センター等)

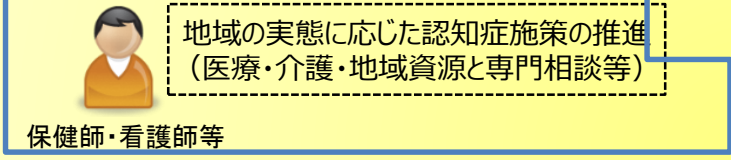
● 認知症初期集中支援チーム



● かかりつけ医・歯科医



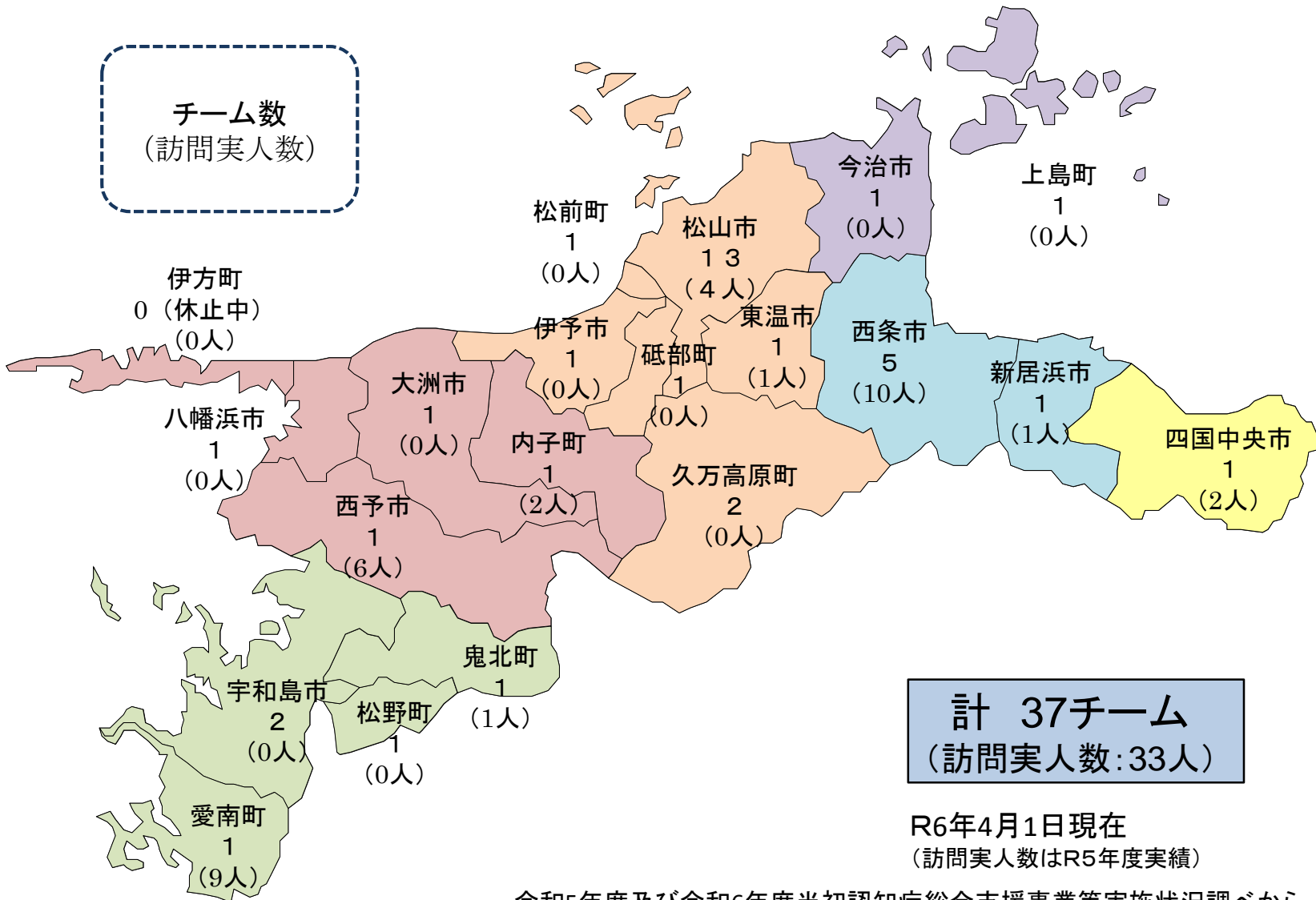
● 認知症地域支援推進員



《 認知症初期集中支援チームの主な業務の流れ 》

- ① 訪問支援対象者の把握
- ② 情報収集 (本人の生活情報や家族の状況など)
- ③ 観察・評価 (認知機能、生活機能、行動・心理症状、家族の介護負担度、身体の様子チェック)
- ④ 初回訪問時の支援 (認知症への理解、専門的医療機関等の利用の説明、介護保険サービス利用の説明、本人・家族への心理的サポート)
- ⑤ 専門医を含めたチーム員会議の開催 (観察・評価内容の確認、支援の方針・内容・頻度等の検討)
- ⑥ 初期集中支援の実施 (専門的医療機関等への受診勧奨、本人への助言、身体を整えるケア、生活環境の改善など)
- ⑦ 引き継ぎ後のモニタリング

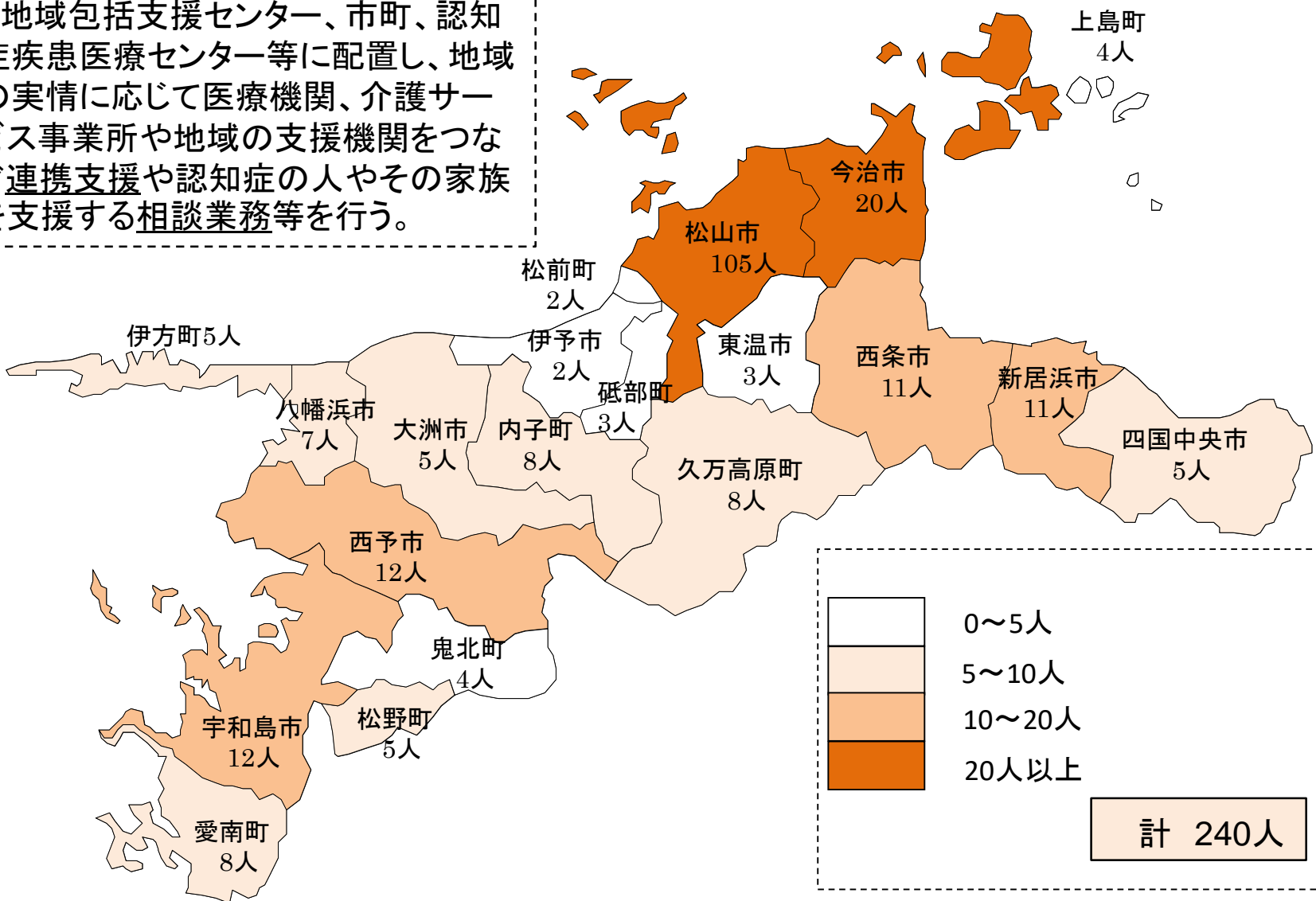
認知症初期集中支援チームの設置状況(チーム数と訪問実人数)



令和5年度及び令和6年度当初認知症総合支援事業等実施状況調べから

認知症地域支援推進員の配置状況

地域包括支援センター、市町、認知症疾患医療センター等に配置し、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う。

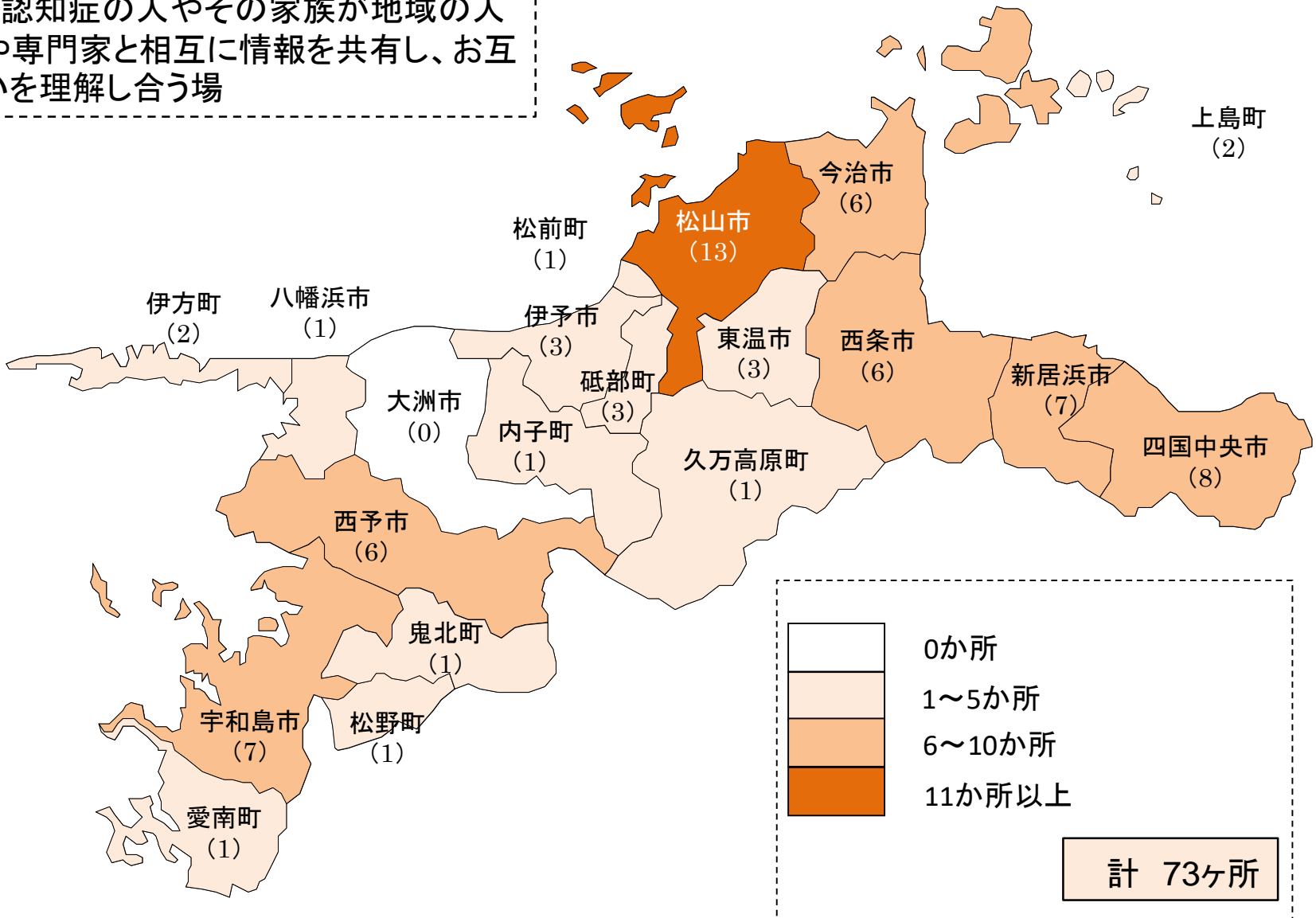


令和5年度及び令和6年度当初認知症総合支援事業等実施状況調べから

(R6年4月1日現在)

認知症カフェの設置状況

認知症の人やその家族が地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場

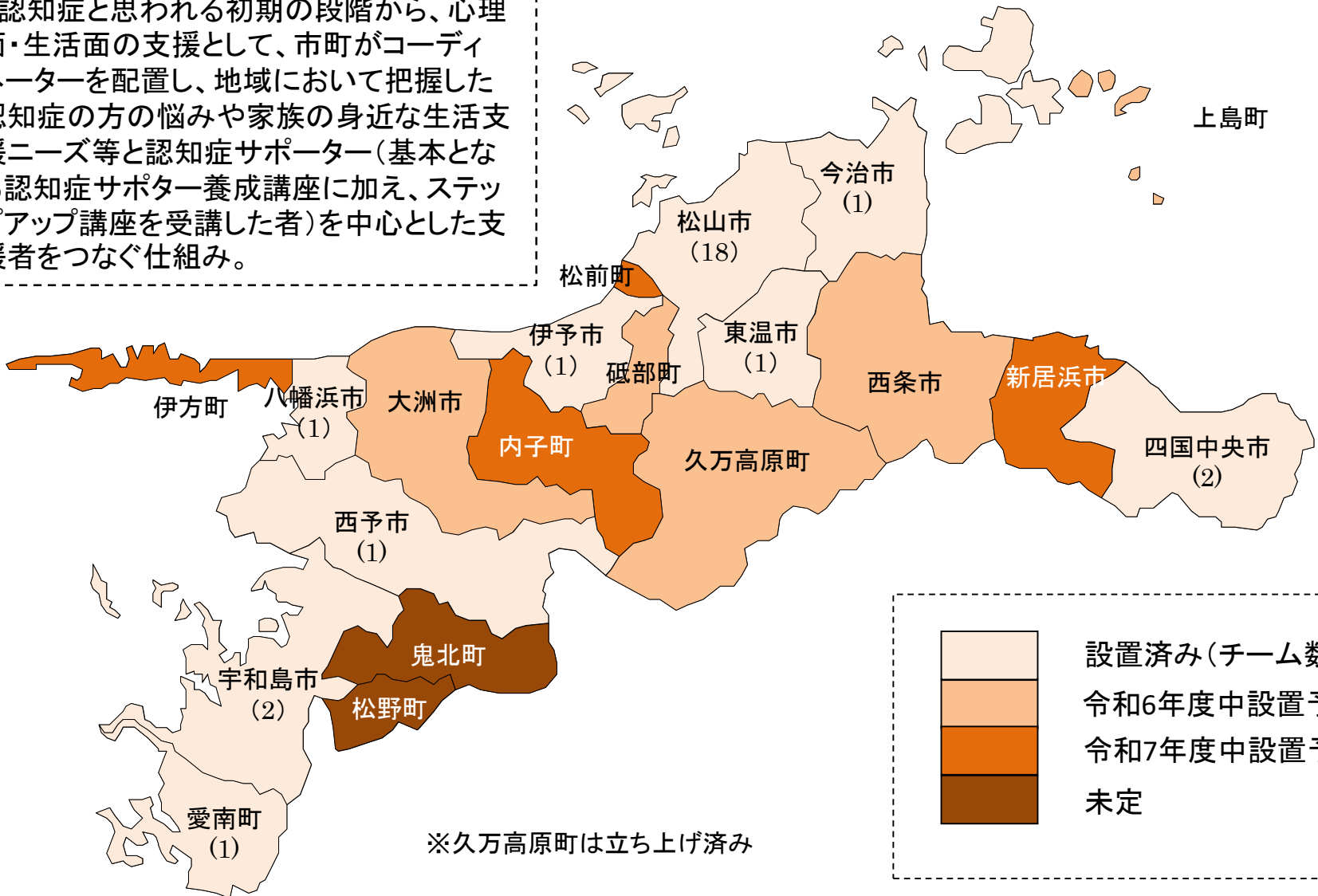


0か所
1~5か所
6~10か所
11か所以上

計 73ヶ所

チームオレンジの設置状況

認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援として、市町がコーディネーターを配置し、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーター（基本となる認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を受講した者）を中心とした支援者をつなぐ仕組み。



設置済み(チーム数)
 令和6年度中設置予定
 令和7年度中設置予定
 未定

(R6年3月31日現在)